

講座の名称：歴史教育の方向性と可能性  
担当講師名：中尾 敏朗（教育学部教授）  
講習開講日：令和2年12月20日（日）  
講習時間数：6時間

受講対象者：主に社会科・地理歴史科を担当する中学校・高等学校教諭

キーワード：歴史学習の構造化・焦点化，歴史を考察し表現する学習

講習の概要：

知識偏重・暗記注入など日本の歴史学習にみられる課題を踏まえ、新学習指導要領の趣旨に留意して、学習課題（問い）の追究・解決を通して目指される資質・能力を育てる授業の在り方を、講義や受講者相互の意見交流を通して検討し、今後求められる歴史学習の姿を探っていきたいと思います。

学習内容の構造化・焦点化や歴史を考察し表現する学習の実際を具体事例を踏まえて把握

講習の展開：

- 第1時限 新学習指導要領の基本的な考え方
- 第2時限 中学校歴史学習が目指すもの（構造化と焦点化）
- 第3時限 高等学校歴史学習の方向性（歴史総合の趣旨）
- 第4時限 意見交流，成果整理

受講に当たっての要件：

新学習指導要領本文やその解説の歴史学習に関わる箇所を、受講者各位の学校種を中心に一読しておいてください。

授業の形式：担当講師からの講義および受講者相互の意見交流

テキスト・参考文献：

- 中学校学習指導要領解説社会編
- 高等学校学習指導要領解説地理歴史編